

四万十源流

令和5年7月20日

第124号



- 一般会計補正予算(第2号)は総額62億7千798万1千円
- 議会運営の新しい組織が決定
- 一般質問 いま、地域福祉の見直しを！！ 〈質問者〉下元 秀俊 議員
- 一般質問 梶原で働く人の住宅対策を！ 〈質問者〉來米 豊史 議員
- 議会事務局ってどんなところ？

議会の活動が3分でわかる！ 6月定例会 クローズUP

〔開催期間〕 2023年6/12日(月)・13日(火)

6月定例会(369回)

議会 6月定例会は、6月12日、13日の2日間の会期で開催した。

一般質問では、下元秀俊議員が「町政運営の基本姿勢について」「福祉施策について」「集落活動センターについて」「来米豊史議員が「町内で働く人の住宅問題について」、町の考えを問うた。

議案審議では、令和5年度一般会計補正予算をはじめ、農業委員会の委員の任命に付き同意を求めることなどについて審議され、すべての議案について原案どおり全会一致で可決・同意した。

また、土地開発公社の経営状況の説明書、一般社団法人ゆすはら雲の上観光協会の経営状況の説明書、令和4年度から令和5年度に繰り越した一般会計他予算の繰越明許費繰越計算書などの報告があった。

5月臨時会

- P10 議案一覧と議員賛否状況
 - P9 補正予算その他
 - P9 専決承認
 - P11 新しい組織が決定
 - P10 お詫びと訂正
- 私は○×です
- 議会運営委員会、総務教育厚生常任委員会、産業建設常任委員会、議会広報編集委員会の各担当議員紹介

表紙写真の紹介



太郎川公園周辺の小道を彩るアジサイ今年は例年より早い梅雨入りとなった。

一般質問

ここが聞きたい

- P8 いま、地域福祉の見直しを！
〈質問者〉 下元 秀俊
- P7 梶原で働く人の住宅対策を！
〈質問者〉 来米 豊史

6月定例会議案審議

- P4 一般会計補正予算(第2号)
 - P4~P5 その他
 - P4 梶原町福祉医療費の助成に関する条例の一部改正について
 - P5 工事請負契約変更について(令和4年度梶原町風力発電事業 風力発電所建設工事(その1))
 - P5 工事請負契約変更について(令和4年度梶原町風力発電事業 風力発電所建設工事(その2))
 - P5 工事請負契約について(令和5年度学校施設環境改善交付金事業 飯母教員住宅建築工事)
 - P5 工事請負契約について(令和5年度防災・安全社会資本整備交付金事業第1-A76-023号 町道下西の川葛返線 法面改良工事(その2))
 - P5 農業委員会の委員の任命に付き同意を求めることについて
 - P5 報告事項
 - 梶原町土地開発公社の経営状況の説明書
 - 一般社団法人ゆすはら雲の上観光協会の経営状況の説明書
 - 繰越明許費繰越計算書
 - P6 議案一覧と議員賛否状況
- 1世帯あたり3万円を給付する住民税非課税世帯等臨時特例給付金 他で9千379万3千円を追加 総額62億7千798万1千円

P3 行政報告

私は○×です

行政報告



町長は、令和4年12月定例会以降における諸般の行政について、次の項目の報告をした。(抜粋)

まちづくり推進課

・第5回西宮市・栲原町文化交流事業開催について

・集落活動センター越知面について
・栲原町・高知大学共催 高知大学創立75周年記念シンポジウム(企業版ふるさと納税)について

環境整備課

・公共建築賞受賞について

生涯学習課関係

・第9回栲原町芸術祭芸術文化イベント「令和を揮毫した書道家茂住青邨(せいそん)さんを囲んで」について
・栲原ファイターズJSC、第37回四国小学生男子・女子ソフトボール大会へ出場について



越知面アメゴ養殖場の様子



西宮市「NAKED VOICE」の皆さんに世界各国の民族楽器の演奏を体験させていただいている栲原学園の生徒達



高知大学創立75周年記念シンポジウムには大勢の来場者が参加した



「雲の上の図書館」「YURURIゆすはら」の2施設が公共建築賞・優秀賞を受賞した



栲原ファイターズJSCが高知県予算を勝ち抜き香川県で行われる四国大会に出場した



書道家の茂住先生から指導を受ける参加者

6月定例会

議案審議の概要

一般会計補正予算は、1世帯あたり3万円を給付する住民税非課税世帯等
臨時特例給付金 他で 9千379万3千円を追加し

総額 62億7千798万1千円

提案され審議した主な議案についての概要(※質疑は抜粋)

1 補正予算

〔一般会計補正予算(第2号)〕

主な内容は、風力発電所の新規稼働及び脱炭素社会の実現に向けた取り組み発信に係る番組制作委託料221万9千円の増額、太郎川公園において新たに管理を担う第三セクターの立ち上げ及び全体的な運営の仕組みづくりを構築するための太郎川施設群運営管理会社設立準備補助金500万円、住民税非課税世帯等臨時特別給付金2千550万円、国の補助事業の採択を受けたことによる仲洞地区の耕地自然災害防止事業に係る工事請負費の増額他、歳入歳出それぞれに9千379万3千円を追加し、その総額を

Q

観光開発事業費について、太郎川公園の湿性植物園は石垣が崩れるとともに土砂の流入もみられ、植生への影響が懸念される。また、草が生い茂っており、植物のプレート名も不明瞭である。現地を確認して対応するべきである。

下元 秀俊 議員

A

土砂の流入は対策をとっていく。また、植物のプレートに関しては専門家にアドバイスをいただきながら対応する。周辺の草はシルバー人材センターに委託している。

産業振興 課長

2 その他

〔栲原町福祉医療費の助成に関する条例の一部改正について〕

現在15歳に達する日の年度末までの児童等を対象に、通院や入院時の医療費に係る自己負担額の助成を行っているところを、子育て支援のさらなる充実、移住・定住の促進を図るため、令和5年10月1日から対象年齢を18歳に拡充するよう条例改正を行うもの。

可決

全員賛成



ウッドデッキの上に石垣が崩れ、植物が生い茂った太郎川公園湿性植物園

可決

全員賛成

62億7千798万1千円としようとするもの。



取り壊される前の旧飯母教員住宅。跡地には新たな教員住宅が建設される

【工事請負契約変更について(令和4年度梶原町風力発電事業 風力発電所建設工事その1)】

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき議会の議決を求めるもの。

可決 全員賛成

【工事請負契約変更について(令和4年度梶原町風力発電事業 風力発電所建設工事その2)】

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき議会の議決を求めるもの。

可決 全員賛成

【工事請負契約について(令和5年度学校施設環境改善交付金事業 飯母教員住宅建築工事)】

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき議会の議決を求めるもの。

可決 全員賛成

Q 本町はエネルギー自給率100%と掲げているが、この住宅には太陽光パネル等の設置を考えているのか。

A 今回の住宅には設置しない。現地の日照条件等、最適な場所があるので場所ごとに検討していく。

環境整備課長

【工事請負契約について(令和5年度防災・安全社会資本整備交付金事業第1-A76-023号町道下西の川葛返線 法面改良工事その2)】

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき議会の議決を求めるもの。

可決 全員賛成

【農業委員会の委員の任命に付き同意を求めたい(ア)】

農業委員会等に関する法律第8条第1項の規定により議会の同意を求めるもの。

同意 全員賛成

今回新たに任命された農業委員

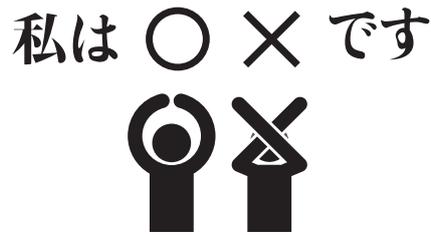
氏名	住所	期間
中平 紀善	梶原町 川西路	令和5年7月20日～ 令和8年7月19日
谷川 恵美	梶原町 中の川	令和5年7月20日～ 令和8年7月19日
上田 和弘	梶原町 川西路	令和5年7月20日～ 令和8年7月19日
中岡 勝寿	梶原町 松谷	令和5年7月20日～ 令和8年7月19日
押川 収一	梶原町 六丁	令和5年7月20日～ 令和8年7月19日

3

報告事項

- 【梶原町土地開発公社の経営状況の説明書】
- 【一般社団法人ゆすはら雲の上観光協会の経営状況の説明書】
- 【繰越明許費繰越計算書】

議案一覧と議員賛否状況



6月 定例会(第369回)

(賛成○、反対×、議長は裁決に加わらない)

議案番号	議案名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8
			藤原伸	來米豊史	森田呂弥	西川豊正	下元秀俊	土釜清	市川岩亀	西川慶男
第51号	令和5年度一般会計補正予算(第2号) 総額を62億7千798万1千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	○	-	○	○
第52号	梶原町福祉医療費の助成に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	-	○	○
第53号	工事請負契約変更について (令和4年度 梶原町風力発電事業 風力発電所建設工事〈その1〉)	可決	○	○	○	○	○	-	○	○
第54号	工事請負契約変更について (令和4年度 梶原町風力発電事業 風力発電所建設工事〈その2〉)	可決	○	○	○	○	○	-	○	○
第55号	工事請負契約について (令和5年度 学校施設環境改善交付金事業 飯母教員住宅建築工事)	可決	○	○	○	○	○	-	○	○
第56号	工事請負契約について (令和5年度 防災・安全社会資本整備交付金事業 第1-A76-023号 町道下西の川葛返線 法面改良工事〈その2〉)	可決	○	○	○	○	○	-	○	○
第57号	農業委員会の委員の任命に付き同意を求めることについて (中平 紀善)	同意	○	○	○	○	○	-	○	○
第58号	農業委員会の委員の任命に付き同意を求めることについて (谷川 恵美)	同意	○	○	○	○	○	-	○	○
第59号	農業委員会の委員の任命に付き同意を求めることについて (上田 和弘)	同意	○	○	○	○	○	-	○	○
第60号	農業委員会の委員の任命に付き同意を求めることについて (中岡 勝寿)	同意	○	○	○	○	○	-	○	○
第61号	農業委員会の委員の任命に付き同意を求めることについて (押川 収一)	同意	○	○	○	○	○	-	○	○

❖ 閉会中の所管事務調査事項 ❖

各委員会は、9月定例会までの閉会中に、次の事項を調査します。

- 議会運営委員会 → 9月定例会の運営について
- 総務教育厚生常任委員会 → 教育について
- 産業建設常任委員会 → 産業振興について
- 議会広報編集委員会 → 議会広報の発行について

一般質問

下元 秀俊 議員

「いま、地域福祉の見直しを！」

町長

「早い時期に必要な対応を検討する」



町政運営の基本姿勢について

Q 令和5年度においても「対話と協働」を掲げて推進するとしているが、町長自ら進んで地域に向向いて町民と対話をする、そのうえで決断しスピード感をもって実行していくことが大事である。新型コロナウイルスも落ち着いた今、トップリーダーとしての考えは。

令和5年度においても「対話と協働」を掲げて推進するとしているが、町長自ら進んで地域に向向いて町民と対話をする、そのうえで決断しスピード感をもって実行していくことが大事である。新型コロナウイルスも落ち着いた今、トップリーダーとしての考えは。

町長

A 私自身がしっかりと対話を深め、町民の皆様のご意見や不安を傾聴できるように進めていく。これまで、提案を待っていたが、自分の考えも伝えながらお互い協働していくことを進めていく。

福祉政策について

Q 本年の3月議会において、総務教育厚生常任委員会から福祉政策の見直しについて提言があった。これは、介護施設の人材不足による労働環境の低下など施設福祉の現場の状況、

本年の3月議会において、総務教育厚生常任委員会から福祉政策の見直しについて提言があった。これは、介護施設の人材不足による労働環境の低下など施設福祉の現場の状況、

運営の厳しさを考慮していることである。町内には、ほかに障がい者や高齢者の生活支援ハウスなど複数の施設が運営されている。いずれの施設も人材不足や将来の維持管理に不安などを抱えながら運営されている。この機会に、運営の一元化も含めて見直しが必要ではないか。

町長

A ゆすはらの地域福祉を考える会の答申から11年が経過し、状況も変化してきた。地域の中でも支えが難しくなってきた背景もあり、「これからの地域福祉を検討する組織」の立ち上げについて、担当者、施設、関係者とも意見を交換し、今後の地域福祉に関する検討をすすめる。

ゆすはらの地域福祉を考える会の答申から11年が経過し、状況も変化してきた。地域の中でも支えが難しくなってきた背景もあり、「これからの地域福祉を検討する組織」の立ち上げについて、担当者、施設、関係者とも意見を交換し、今後の地域福祉に関する検討をすすめる。

集落活動センターについて

Q 集落活動センターは新たな段階に差し掛かっている。キジの加工施設の運用が始まり、アメゴの養殖も本格稼働し始め

集落活動センターは新たな段階に差し掛かっている。キジの加工施設の運用が始まり、アメゴの養殖も本格稼働し始め

た。またイタドリを活用したうどの販売拡大、ジビエ、キムチとそれぞれのセンターで取り組んできたことが形になってきた。今後の人材の定着や事業の継承など課題もまだまだ多く、専門家の助言やアドバイザーなど自立支援が必要である。新たな道の駅の開業に向けて商品づくりも求められる。町長の考えは。

町長

A これからの時代は売れるものを作る必要があり、そのために専門家のアドバイスや、県の事業の活用、未来大使の協力を得るなどして取り組んでいく。



集落活動センターゆすはら東が運営する雲のうえ食堂の栲原皿鉢御膳

Q 集落支援員、地域おこし協力隊それぞれの利点もある。特徴に合わせた活用も必要ではないか。

町長

A これまでに集落活動センター連絡協議会で検討をして頂いた結果、集落支援員の配置となっており、現段階では集落支援員が進むべきと考えている。今後協議会の中で議論し利用したい制度があれば取り組んでいく。



集落活動センターおちめんで本格稼働し始めた養殖場のあめご

一般質問

来米 豊史 議員

「梶原で働く人の住宅対策を！」

町長

「町全体で調整をしながら必要な措置を講ずる」



梶原で働く人の住宅問題について

Q

本町では、町中に、主に単身で働く人の住宅が少ないのは大きな問題である。働く場所があっても住むところがないと雇用もままならない。

町営住宅や移住者用住宅等で対応できるところもあると思うが、需要や要望に合わないことが多いと感じる。

今後太郎川再生計画の中のホテルもできれば従業員の住宅も考えなければならぬ。生活に便利な町中に、各企業の寮のような利用もできる、主に単身者用のワンルームを中心とした施設が必要である。

同時に、ビジネス利用の宿泊施設不足の解消もあわせて、ビジネスホテルの機能も併せた施設を考えると、収益的にも合理的な施設になるのではないかと考える。

具体的には、町有地であ

る現梶原歯科診療所の仮設置場所が適当ではないかと思うが、建設方式等諸々の問題は今後検討するにしても、手遅れにならないように、梶原に住む必然を作っていくためにも、この住宅問題は喫緊の課題と考えるが町長の考えを問う。

町長

A

様々な町内事業者の皆様から人手が足りない、住宅の確保ができないということ聞いたこともある。

太郎川再生計画の中でも従業員の宿舎をどうするかの議論もしていかなければならない。

中心部での利便性を魅力的にする事は一理あるが、一方で本町6つの区が集落活動センター事業などを継承し続けながら町全体を守る事も必要である。6つの区が自立を目指して取り組んでいることを支援助し課題解決に向けて取り

組むべきだと考えている。

提言の内容については、さまざまな方向から実行可能性の調査をしていきたい。

Q

各地区を守る事は理解するが、現実には人口が減少していく中でバランスをとらないといるんな事が手遅れになると感じる。今後具体的な案を考え提案していくので、前向きに検討していきたい。

A

Uターン、孫ターンという形での人材確保もしていきながら、必要戸数を確保していくことが必要であると考えます。その場所については、より良い町にしていくためにどういう利用をしていくのか、町なかの再整備を含め検討していきたい。

町長



現在の仮歯科診療所が設置された町有地

5月臨時会 (第368回)

任期満了による梶原町議会議員選挙が行われ、無投票により8人の議員が当選した。

その後、令和5年5月1日に臨時会(初議会)が開催され、正副議長の選挙を行い議長に土釜清氏、副議長に下元秀俊氏が選出された。

併せて、議会運営委員会委員、各常任委員会委員及び議会広報編集委員会委員の選任も行われ新しい組織が決定した。

また、執行部提案の「監査委員の選任に同意を求めることについて」の議案では、市川岩亀氏が選任され全会一致で同意した。



監査委員に選任された市川岩亀氏

1 専決承認

【令和4年度高知県高岡郡梶原町一般会計補正予算(第6号)】
地方交付税等の交付金の確定及び地方債の歳入の確定による基金積立金の増額等に伴うもの。

可決
全員賛成

【令和4年度高知県高岡郡梶原町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)】

梶原病院で整備した医療機器が県支出金の交付対象となったことによる病院企業会計への繰り出し金を計上したもの。

可決
全員賛成

【令和4年度高知県高岡郡梶原町病院事業会計補正予算(第3号)】

梶原病院で整備した医療機器が県支出金の交付対象となったことによる資本的収入の他会計補助金を計上したもの。

可決
全員賛成

【梶原町税条例等の一部を改正する条例】

地方税法等の一部を改正する法律、地方税法施行令の一部を改正する政令、地方税法施行規則等の一部を改正する省令等の公布に伴うもの。

可決
全員賛成

【梶原町国民健康保険条例の一部を改正する条例】

国民健康保険法施行令の一部を改正する政令、新型コロナウイルス感染症の影響による減免措置に対する国の財政支援について、一部特例が認められたため、所要の改正を行うもの。

可決
全員賛成

【梶原町介護保険条例の一部を改正する条例】

新型コロナウイルス感染症の影響による減免措置に対する国の財政支援について、一部特例が認められたため、所要の改正を行うもの。

可決
全員賛成

2 補正予算

【令和5年度高知県高岡郡梶原町一般会計補正予算(第1号)】

空き家活用住宅の修繕料140万円、飯母教員住宅の建替工事の国庫補助金の内示があったことから、設計監理委託料169万4千円及び工事請負費9千55万2千円の増額他歳入歳出それぞれ1億818万8千円を追加し総額を61億8千418万8千円としようとするもの。

可決
全員賛成

3 その他

【監査委員の選任に付き同意を求めることについて】

議会選出の監査委員の任期満了に伴い、町長から市川岩亀氏を選任する旨提案があり、満場一致で同意した。

同意
全員賛成

議案一覧と議員賛否状況

私は ○ × です



5月臨時会(第368回)

(賛成○、反対×、議長は裁決に加わらない)

議案番号	議案名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8
			藤原伸	來米豊史	森田呂弥	西川豊正	下元秀俊	土釜清	市川岩亀	西川慶男
第43号	専決処分の承認を求めることについて (令和4年度高知県高岡郡梶原町一般会計補正予算(第6号))	可決	○	○	○	○	○	-	○	○
第44号	専決処分の承認を求めることについて (令和4年度高知県高岡郡梶原町国民健康保険特別会計補正予算(第4号))	可決	○	○	○	○	○	-	○	○
第45号	専決処分の承認を求めることについて (令和4年度高知県高岡郡梶原町病院企業会計補正予算(第3号))	可決	○	○	○	○	○	-	○	○
第46号	専決処分の承認を求めることについて (梶原町税条例の一部を改正する条例)	可決	○	○	○	○	○	-	○	○
第47号	専決処分の承認を求めることについて (梶原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	可決	○	○	○	○	○	-	○	○
第48号	専決処分の承認を求めることについて (梶原町介護保険条例の一部を改正する条例)	可決	○	○	○	○	○	-	○	○
第49号	令和5年度高知県高岡郡梶原町一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	-	○	○
第50号	監査委員の選任に付き同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	-	○	○

お詫びと訂正

議会広報「四万十源流」令和5年3月20日第123号の記事の中に、一部誤りがありました。正しくは下記のとおりです。お詫びして訂正いたします。

5ページ 字の訂正

(誤)官公造林 (正)官行造林

7ページ 3月定例会令和5年度予算連合審査での質疑答弁中教育費についての生涯学習課長の答弁

(誤)現状は2分の1の免除、スポーツ保険料は割引なしとなっている

(正)現状は免除制度はなく、会費の2分の1の免除、スポーツ保険料は割引なしが障害年金の範囲で適当ではないかと検討している

9ページ 生涯学習交流センターの定員について

(誤)62人 (正)60人

14ページ 太郎川公園水の確保に関する質問に対する回答者

(誤)環境整備課長 (正)産業振興課長

新しい組織が決定

令和5年5月1日の臨時会(初議会)において新たな組織を決定した。

(※組織は令和5年5月1日現在)

委員 西川 慶男
委員 下元 秀俊
委員 藤原 伸
副委員長 來米 豊史
委員長 森田 呂弥

総務教育厚生常任委員会

オブザーバー 下元 秀俊
オブザーバー 土釜 清

委員 市川 岩亀
委員 西川 豊正
委員 來米 豊史
委員 藤原 伸
副委員長 森田 呂弥
委員長 西川 慶男

議会運営委員会



土釜清 議長

委員 西川 慶男
委員 市川 岩亀
委員 下元 秀俊
委員 森田 呂弥
委員 藤原 伸
副委員長 西川 豊正
委員長 來米 豊史

議会広報編集委員会

委員 土釜 清
委員 來米 豊史
委員 藤原 伸
副委員長 市川 岩亀
委員長 西川 豊正

産業建設常任委員会



下元秀俊 副議長



総務教育厚生常任委員会

(後列左から) 藤原委員、下元委員
(前列左から) 西川委員、森田委員長、來米副委員長



議会運営委員会

(後列左から) 西川委員、藤原委員、來米委員
(前列左から) 市川委員、西川委員長、森田副委員長



議会広報編集委員会

(後列左から) 西川委員、市川委員、藤原委員、森田委員
(前列左から) 下元委員、來米委員長、西川副委員長



産業建設常任委員会

(後列左から) 藤原委員、來米委員、土釜委員
(前列左から) 西川委員長、市川副委員長

議会事務局って どんなとこ？

議会事務局は、庁舎の奥にあるので入ったことがないという方が多いと思います。そこで、中はこんな感じになっていますよ〜と大公開！

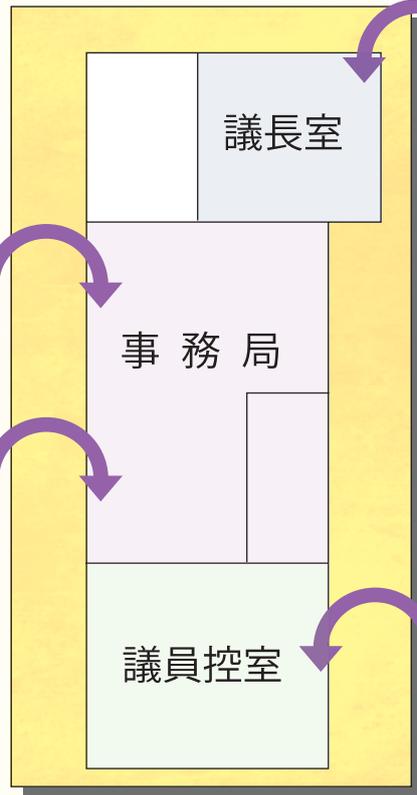
役場2階のここにあります



時々、議員が調べものをしに来ます



普段は事務局長と書記がいます



議長への来客はここで対応します



議会前の控室の様子



あとがき

4月の町議会議員選挙は町史始まって以来の無投票と言うことになり、新人2名を含め8名の議員での新しいスタートとなりました。議員のなり手がいないのは全国的な問題でもあり様々な課題があると考えます。個人的に言えば選挙での信任を得たという実感が無いのは否めませんが、ともあれ議員としての仕事をさせて頂くことになったからには、町の発展のために出来ることは身を惜しむことなく努めて行きたいと思っています。

今、世界は色々なことがめまぐるしく変化し、進化もしています。生成AIの登場などは、今後大きく世界を変えていくと思われれます。そんな中で我々は正しい情報、起ることの本質を見抜き行動していかねばならないと思います。

新聞、マスコミ、ネット情報などはすべて正しいとは限りません。情報も取捨選択して、よりよい方向に梶原町が進んでいきますよう努力したいと思っています。

今回、議会広報編集委員長をさせて頂くことになりましたが、更に皆様読みやすく伝わりやすい議会だよりにしていけるよう頑張りたいと思います。

來米 豊史記